

平成26年度事業計画書(H26.4.1～H27.3.31)

平成26年度は財団として以下の3点を活動の柱として取り組みます。

1. ロコモチャレンジ！推進協議会との連携の推進
2. 骨粗鬆症検診「受診の普及」「受診を推進」する活動
3. 骨粗鬆症予防の普及啓発のためのマスメディアの活用

第3回目となる市民公開講座2014、骨量測定拡大キャンペーン、DXA講習会全国展開の継続をはじめ、ロコモ推進協議会との連携を視野に入れ、骨粗鬆症のみならず筋肉、関節を含めた運動器トータルを意識した取り組みを新しく考えていきます。また、骨を守る会への支援を継続して実施し、マスメディアへも積極的に働きかけ、当財団啓発活動をアピールいたします。

IOF関連では、3月31日から“Business Meeting”とIOF国際学会がスペインのセビリアで開催、そして11月には台北で“IOF Regionals 5th Asia-Pacific Osteoporosis Meeting”が開催され、当財団も出展を予定しています。これらを踏まえて財団の活動を世界にアピールしたいと考えています。

(1) 普及・啓発事業

イ) ロコモ協議会とのタイアップ推進(例:共催イベントの実施等)

ロ) 骨粗鬆症に関する資材・資料の作成

・一般啓発資材作成

①ロコモと骨粗鬆症に関するリーフレット

- ・「骨量測定装置設置先名簿(2013年12月現在)」 2年に1回の発行も検討
- ・「骨粗鬆症の検診・保健指導マニュアル」2014年改訂版
- ・ポスター作成「2014世界骨粗鬆症デー」

ハ) 財団ホームページの運営・リニューアル

・トップページ、コンテンツ全体の見直し

財団自体や、活動内容の紹介を増やす(開催講演会・イベント、各骨を守る会、IOF関連等)
FAQの見直し(内容改訂、追加・削除等)

・「病医院一覧」ページ

ホームページ上に掲載する条件を一部変更し、掲載数増加を目指す →添付資料1
新規、掲載中止、一部改変のための入力用フォームを作成

・バナー広告企業の拡大

トップページのバナー広告を新規募集

ニ) 財団主催・後援によるフォーラムの実施

・「骨量測定拡大キャンペーン」の継続実施

全国自治体健康推進課対象のアンケート(担当者向け骨量測定啓発勉強会の実施)

・「世界骨粗鬆症デー」の取り組み

第3回市民公開講座の開催(平成26年10月18日(土)、イイノホール)

街頭大型ビジョン(Hot Vision銀座)で啓発映像の放映

(10月の1か月間放映、映像はホームページにも掲載)

マスメディアに対する積極的な働きかけ(テレビ、新聞とのタイアップ等)

・財団後援イベント

骨形態計測学会主催「市民公開講座」後援(骨量測定会の支援)

ホ) 地域骨を守る会の支援・連携の拡大

- ・第4回「全国骨を守る会連合会」の開催
- ・各地域の骨を守る会に対し補助金支援
- ・情報収集のための活動

ヘ) 財団ニュースの発行 年2回発行(5月、12月)

ト) 教育セミナーの開催

- ・年2回開催(第62回:7月11日、第63回:11月予定)

※第62回 平成26年7月11日(金) 14時～17時

講師: 神戸薬科大学医療統計学研究室 講師 森脇健介先生

東海大学医学部内科学系リウマチ内科学 教授 鈴木康夫先生

- ・講演記録集の発行(第61回、第62回)
- ・テーマに関するアンケート調査実施(賛助会員)

チ) 骨量測定法講習会の開催

- ・「精度よくDXAで骨量測定するための講習会」(第13回～)

26年度:都道府県別で講習会参加率(講習会参加施設数/cDXA納入施設数)が低いエリアで5回開催(5/18・東京、6/1・鹿児島、9/7・新潟、11/30・松本、2/15・金沢)

リ) Q&Aの対応(電話、E-mail、ホームページINFO)

※参考:平成25年4月1日～平成26年2月13日 129件

(2) 研究助成事業

イ) 財団による研究助成事業

- ・第22回(平成26年度)選考(一般課題 5題)

- ・第23回(平成27年度)助成募集(研究期間:平成27年4月～平成28年3月)

・一般課題 5題の選定(80万円)

・指定課題 1題の選定(上限300万円)

テーマ:サルコペニア(筋肉減少症)に関する研究

・募集:平成26年10月～11月

・選考委員:遠藤直人、岸本英彰、五來逸雄、杉本利嗣、三木隆己、米田俊之先生

ロ) 第11回リリー研究助成プログラム(研究期間:平成27年1月～12月)

・10題の選定(80万円)

・募集:平成26年7月～8月

・選考委員:井上哲郎、堂地 勉、松本俊夫、藤原佐枝子先生

ハ) 第8回旭化成研究助成プログラム(研究期間:平成27年4月～平成28年3月)

・8題の選定(50万円)

・募集:平成26年9月～10月

・選考委員:林 泰史、太田博明、細井孝之先生

(3) 調査・研究事業

イ) 国庫補助金研究事業

- ・平成26年度 厚生労働省老健局「老人保健健康増進等事業」への申請
テーマ(案):「介護予防のためのロコモ対策 ―虚弱老人とサルコペニア―」

ロ) FRAX[®]の評価・検証事業

- ・FRAX[®]の検診・健診での活用法に関するレビューの掲載
※平成25年度事業
「FRAX[®]に関するアンケート調査結果の概要 骨粗鬆症治療に積極的に携わる医師に対する認知度および活用状況調査」のパンフレット作成

ハ) 骨粗鬆症治療薬の服用に関するアンケート調査

- ・「HAPPINESS-J Study」平成24年12月～平成27年5月:継続事業
(調査依頼医療機関:目標10,000例、2,000施設(2/6現在 14,383例の調査票回収済)
中間結果の報告会実施

ニ) 「大腿骨近位部骨折全国調査」の活用

ホ) 女子中高生と母親の啓発活動

- 「成長期にある子供とその母親の骨密度強化啓発と親子の相関性調査」(聖マリアンナ医科大学、清水弘之先生)の支援継続
- ・女子中・高等学校での親子骨量測定会の実施
- ・母親と娘のデータを活用した骨粗鬆症予防向け資材の作成

(4) 情報収集 & 国際交流

イ) IOF関連

- ・IOF Regionals 5th Asia-Pacific Osteoporosis Meetingへの出展(台北 2014年11/14～17)
- ・情報交換と連携の強化
WCO-IOF-ESCEO-SEVILLE2014(スペイン、2014年3/31～4/5)折茂理事長 出席

ロ) 行政情報収集 & ロビー活動

- ・健康局がん対策・健康増進課の実施する骨粗鬆症検診事業への協力

ハ) 健康日本21推進全国連絡協議会との情報交換

ニ) 関連学会との情報交換 & 連携強化

(5) その他

- ・市民公開講座 プロジェクト委員会について
- ・平成26年度第1回定時評議員会にて理事の改選(新任期:2年) 監事の改選(新任期:4年)

骨粗鬆症財団ホームページにおける医療機関紹介コーナーの掲載基準

①掲載施設数の推移

平成14年	116施設
平成17年10月	467施設
平成23年4月	1,050施設
平成25年12月現在	1,051施設

- ②第3回広報委員会(平成16年11月18日、大宮ソニックシティ、藤田拓男委員長)にて、「骨粗鬆症の診療を専門的に扱っている病医院」として下記3項目を条件に募集することが決定。

<施設掲載のための条件>

- ① 所属医師の少なくとも1人が日本骨粗鬆症学会の会員であること
- ② 何らかの骨塩定量機器または定量手段を有すること
- ③ 病医院(及び医師)が紹介を希望または了解していること

③

<施設掲載のための新基準>

- ① 骨量(骨密度)測定機器または定量手段を有すること
- ② 病医院(及び医師)が骨粗鬆症に興味を持ち診療を行っていること